

学校図書館活用推進事業 事例報告会

平成 29 年 11 月 24 日(金) / 28 日(火) 15:00 ~ 17:00
於：大阪市立中央図書館 大会議室

次 第

開会あいさつ

中央図書館長 三 木 信 夫

第 1 部 事業全体を見通して ~今まで、そしてこれから~

事業のねらい、成果と課題

中央図書館担当係長 戸 倉 信 昭

学校図書館活用推進事業におけるコーディネーターの役割

学校図書館補助員チーフコーディネーター 津 村 純 一

休 憩 (15 分)

第 2 部 学校での活動事例

(1) 東桃谷小学校(生野区)の事例

学校図書館補助員コーディネーター 吉 井 記 子

ゲストレポーター 東桃谷小学校長 津 曲 純 先生 (24 日)

(2) 長吉中学校(平野区)の事例

学校図書館補助員コーディネーター 浅 野 吉見幸

学校図書館補助員 安 並 薫 (24 日)

ゲストレポーター 長吉中学校教諭 白 神 隆 至 先生 (28 日)

長吉中学校学校元気アップ地域コーディネーター 松 尾 さと子 さん (24 日)

閉会あいさつ

中央図書館地域サービス担当課長 宮 田 英 二

展示 見てわかる学校図書館活用事例（ロビー）

各校で取り組まれているさまざまな工夫を、会場前スペースに展示します。

◎図書展示

読書のきっかけ、学びの広がりにつながる「図書展示」。子どもが興味を持ちやすく、手に取りやすくなります。見せ方の工夫を中心に、展示コーナーを再現します。

◎表示の工夫

本の場所を示す表示や見出し、マナーやルールを示す掲示など、図書館内での表示の工夫を、実物と写真で紹介します。

◎図書館だより

学校図書館の催し、新しくいった本などを紹介する配付物「図書館だより」。楽しい記事やレイアウトの工夫を、たくさんの実例でご覧いただきます。参考になる図書も紹介します。

◎POP（本の紹介）

POP（ポップ）とは、購買意欲をかき立てる広告やディスプレイのこと。この手法を取り入れて、読みたくなるような本の紹介表示で、読書の世界へ導きましょう。

◎学習支援

調べ学習の進め方の図解や、読書への入口を示すブックトーク・アニメーションの実施例など、学びを支える学校図書館をアピールできる掲示や参考資料の展示です。

予告

開催決定！ **大阪市学校図書館フェア**

事例報告会の内容をパワーアップ。学校図書館活用推進事業の3年間の集大成として一般参加者（市民）向けのイベント「大阪市学校図書館フェア」を開催します。

平成30年（2018）1月14日（日） 会場：大阪市立中央図書館（5階会議室）

詳細は今後、大阪市立図書館ホームページ（学校図書館活用推進事業ページ）などでお知らせします

事業全体を見通して
～今まで、そしてこれから～

事業のねらい、成果と課題

大阪市立中央図書館
学校図書館支援グループ

1

- 1 発端 平成27年度から
“学校図書館活用推進事業”を開始
- 2 成果 補助員配置をきっかけに
学校図書館の環境整備が大幅に改善！
- 3 成果 市立図書館の学校支援サービスの浸透
- 4 今後 「学校図書館の環境整備」と
「学校図書館を活用した教育活動」が
“車の両輪”となるために

2

1

平成27年度から
“学校図書館活用推進事業”を開始

3

それまでの大阪市の学校図書館

- 専任の担当者が不在、教員の多忙化
担当者（図書館主任・司書教諭）への負担集中
学校図書館の環境整備もままならない
- 学校図書館活用への理解が深まらない
- 熱心な先生の頑張りに依存
- 地域の力を借りた活性化にも取り組むが...

4

それまでの大阪市の学校図書館

- 学校図書館に対する認識に開き

学校図書館や読書に関心の高い教員
熱心な保護者・ボランティア
市立図書館の司書



その他の多くの教員
その他の保護者
その他の行政職員

- 平成26(2014)テレビ報道
「大阪市の小学校 図書室が開いていない」

5

突然だった事業化の決定

- 平成26(2014).11.26
「市長と教育委員との協議」で橋下市長(当時)

- 学校図書館には愕然とした。学力低下もさもありなん
- 必要な予算を付けるので、蔵書と人の体制の充実を
- 市立図書館(司書職集団)との連携を



平成27年度からの重点事業として予算化が決定

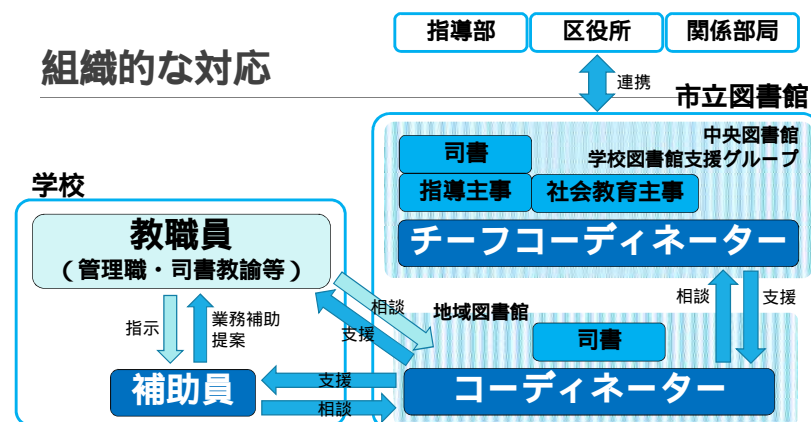
6

事業の二本柱～「モノ」と「ヒト」

- 学校図書館図書整備
基準冊数を下回る学校へ不足分の図書購入費を加算
- 学校図書館補助員の配置
全小中学校に週1回「学校図書館補助員」
「コーディネーター」「チーフコーディネーター」
中央図書館に「学校図書館支援グループ」を設置
区が補助員配置計画を策定

7

組織的な対応



8

2

補助員配置をきっかけに
学校図書館の環境整備が
大幅に改善！

9

ようやく「図書館活用」の入口に

● 開館回数の増加

H27 H28 H29(7月時点)

	適当たり平均開館回数 小：週20回のうち 中：週15回のうち (25年度末 小：4.5回 中：5.5回)	適当たり開館回数が 7回以上の学校の割合	毎日開館し、かつ 適当たり開館回数が 7回以上の学校の割合
小学校	6.5回	46.7%	35.7%
	7.6回	79.7%	54.5%
	8.4回	96.5%	93.1%
中学校	6.1回	29.7%	22.7%
	7.2回	75.8%	66.4%
	7.9回	97.7%	93.0%

10

ようやく「図書館活用」の入口に

- 校長先生から寄せられた声から
 - 環境整備に大きな成果：小中とも9割
 - 配置拡大や学校司書配置要望：小 5割、中 4割
 - 意識の変化
 - 補助員やコーディネーターの「調整機能」
 - いまだ道半ば、と思われられる声も

11

補助員の活動事例



給食の時間に
放送室から
読み聞かせ

(小学校)



放課後に
学校図書館で
読み聞かせ

(中学校)

12

補助員の活動事例



学校図書館内に、学習内容に役立つ
情報を展示（戦時中の暮らし）
(中学校)

ブックトーク（認知症を知ろう）
(小学校)



13

補助員配置の「直接的効果」

- 補助員のはたらきで...
- 開館日・回数が増加
- 掲示物や本の紹介・展示が充実
- 図書館が「明るい雰囲気」
- 読み聞かせや授業支援

14

補助員配置の「間接的効果」

- 補助員配置をきっかけに...
 - 環境整備された学校図書館を目の当たりに
 - いきいきと読書に親しむ子どもの表情を目の当たりに
- 補助員配置を機に学校全体で読書推進しようという機運
- 1 + 1 = 2 以上のアウトプット**
- 授業の充実・学力向上などのアウトカムはまだまだこれから

15

3

市立図書館の
学校支援サービスの浸透

16

既存サービスの普及・利用増

- 以前から「学校支援」に注力
- 団体貸出、図書館見学・職場体験受入
- 学校おはなし会、講師(司書)派遣
- 『市立図書館活用の手引き』配布・配信



補助員やコーディネーターの周知により普及・浸透

17

潜在的なニーズの掘り起こし

- 補助員・コーディネーターが「つなぎ役」に
- 仮に手におえないことを頼まれたとしても、補助員は「できません」と断らない

コーディネーターや市立図書館にニーズを「つなぐ」
(支援可能なリソースに適切に接続する)

タイミングを逸することなく現場支援が可能に

18

4

「学校図書館の環境整備」と
「学校図書館を活用した教育活動」が
“車の両輪”となるために

19

学校図書館のあるべき姿について 明確に共有すること

- 学校教育において欠くことのできない基礎的な設備
(学校図書館法1条)
- 学校には、学校図書館を設けなければならない
(学校図書館法4条)
- 校舎には、少なくとも次に掲げる設備を備える
 - 1 教室(普通教室、特別教室等とする)
 - 2 図書室、保健室
 - 3 職員室(小(中)学校設置基準9条)

20

色々な本を手軽に読めたり、ほっとしりする場所

児童、生徒に読書する本を提供したり、読書とかついで、調べものをしたりする。子ども達の教室以外の居場所

子どもがたくさんの本の中から、自分の読みたい本を自由に選んで読むための。

子どもたちの読書の場、調べ活動の場

読書を楽しむ(楽しむ) 字や絵を見る
知らないものに、本で調べる
静んてを思い

読書センター

学習・情報センター

副次的な効果

学校図書館は何のために設置されている場所だと思えますか
簡潔に記してください

司書教諭スキルアップ講習受講者に
当日その場で1分まで書いてもらった

学校において「協働の文化」をはぐくむ

- 大阪市の学校図書館にはたくさんの「応援団」が...
- コーディネーター、市立図書館
- 地域の方々・ボランティア
- 区の職員、その他関係部局の職員.....
- 学校の中でも(管理職～図書館担当～事務職員～補助員...)

学校と、他職種・外部人材・支援リソースとの連携

車の両輪で「学校図書館活用推進」

学校図書館の 管理運営

- 蔵書構成・館内整備
- 利用者(児童生徒・教職員)支援
- 予算執行

学校図書館を活用した 調べ学習や読書活動

- 教員の専門性
- 児童生徒の状況
- 教育方針

それぞれの職員の専門性
支援リソースにおける蓄積



教員でしかできない

来年度は...

学校図書館の 管理運営

- 補助員等の配置の継続
- 地域の力も借りて活性化
- 市立図書館等の支援体制

学校図書館を活用した 調べ学習や読書活動

- 教員研修の実施
- 情報提供
- ノウハウの共有

環境整備の維持・発展
支援の継続



より豊かな教育
児童生徒の学力向上

学校図書館活用推進事業における コーディネーターの役割



コーディネーターによる補助員研修(アニメーション)

1 学校図書館補助員コーディネーターの誕生

24人のコーディネーターを配置(原則区に一人)

・ 配置の理由

「学校図書館補助員」(154人)の
フォロー役が必要

補助員 { 学校に週1日(6時間)
1人3校程度
補助員のスキル・経験はいろいろ
学校の状況もさまざま



補助員どうして情報交流

・ 補助員配置前の準備(平成27年4月~9月)

研修

学校訪問 ← 学校の考え
学校図書館の状況

補助員の配置計画の策定

作業支援



協力してコンピュータ化作業

2 コーディネーターの仕事

(1) 補助員への支援

相談対応・参考資料提供・作業手伝い
学校との調整

(2) 学校への支援

相談対応・学校と市立図書館をつなぐ
提案
作業支援

- ・ 補助員が少しでも働きやすくなるように
- ・ 学校図書館が使いやすい、運営がスムーズになるように



授業風景(オリエンテーション)

3 コーディネーターの仕事を通して見えてきたこと

(1) 大阪市の小中学校の図書館をより魅力的な姿に近づけるために

環境整備
レイアウト・配架の工夫
より居心地のよい図書館づくり
読書好きの児童・生徒を増やすでだて
授業支援の方法



書架整理

➤ 学校への提案の必要性

コーディネーターの仕事を通して見えてきたこと

(2) 担い手である補助員へ

各区単位での補助員研修会等の実施
〔研修内容〕
・サイン・見出し・POP・面展台の作成
・本の修理・読み聞かせ・アニメーション
・ブックトーク
・蔵書点検・日本十進分類法
・コンピュータ化・オリエンテーション



補助員研修(コンピュータ化)

➤ スキルアップの必要性

コーディネーターの仕事を通して見えてきたこと

(3) 先生方へ

経験の少ない図書主任の先生へ
学校図書館の運営や市立図書館との連携についての説明
若い先生へ
社会体験研修等で啓発



補助員から教職員・ボランティアに

➤ アプローチの必要性

コーディネーターの仕事を通して見えてきたこと

コーディネーターは、相互に協力しあい、情報交換等を重ねスキルアップを図って、支援・調整・対応等の能力向上に努めている。



コーディネーターも互いに意見交換

4 今後の取り組み

補助員に向けて

それぞれの個性に合わせた支援の仕方をより一層工夫する

児童・生徒に向けて

学校図書館を活用する人数がさらに増えるように工夫する

教職員に向けて

授業を始めとする教育活動への支援をより進める



補助員研修(ビブリオバトル)

5 学校へのお願い

- (1) 本事業へのより一層のご理解とご協力を
- (2) 学校図書館に関する相談・質問については気軽にコーディネーターへ声掛けを



新刊書のお知らせ

生野区 東桃谷小学校

事例報告

学校図書館活用推進事業事例報告会（平成29年11月24日・28日）

小規模校

児童数 214名

↓

先生方は多忙

図書館の位置

普通教室から遠い
奥まった場所 暗く ひっそり

↓

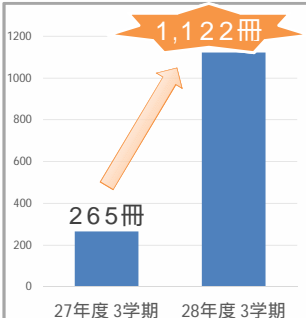
立地条件が悪い




いい条件とは言えないが
子どもたちは読書が大好き 学校図書館が大好き

子どもたちの利用が増えた！

貸出冊数



27年度 3学期 265冊

28年度 3学期 1,122冊

《補助員勤務日だけの集計結果》

学校生活アンケート調査

「本を読むのは楽しい」

平成27年度 85.2%

→ 平成28年度 92.8%

平成27年度 学校図書館補助員の配置がスタート

学校図書館の環境が大きく改善！

事例1
使いやすくするための工夫

事例2
親しみを感じるための工夫

使いやすいするための工夫

1. 分類番号順の配列

同じ内容の本が1か所に集まる



↓
調べたい本が
探しやすい

使いやすいするための工夫

2. 見出し板の差込み

作者名50音順に配列し、見出しを表示



↓
並行読書などの
本が探しやすい

使いやすいするための工夫

3. 図書館マップ

どこにどの分類の本があるかの見取り図



↓
読みたい本や
返す本の場所が
わかる

親しみを感じるための工夫

1. 展示コーナー設置



- ・カウンター近くで
目に付きやすい
- ・行事や季節、
単元に沿った内容

親しみを感じるための工夫

2. 学校図書館入口の掲示板



・季節ごとに
掲示物を作成

10月は
ハロウィン

図書館活用推進に向けての工夫

～ 補助員配置をきっかけに～

1. 補助員配置日にネーミング
2. 補助員配置日に「図書の日」を割当て
3. 活動日誌の活用
～ 学校と補助員とのコミュニケーション～

図書館活用推進に向けての工夫

～ 補助員配置をきっかけに～

1. 補助員配置日にネーミング

校長がコーディネーターに相談

「子どもが図書館に行きたくなくなるような
しかけはないものか……」

コーディネーター

『図書館一日あいてんでー』を提案



しかも…

休み時間に校内放送

独特の口調で



図書館活用推進に向けての工夫

～ 補助員配置をきっかけに～

2. 補助員配置日に 「図書時間」を割当て

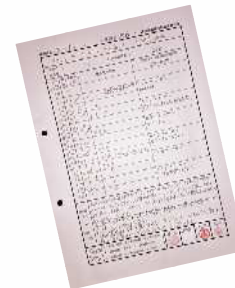


全学年、
補助員配置日の
金曜日に
「図書時間」

図書館活用推進に向けての工夫

～ 補助員配置をきっかけに～

3. 活動日誌の活用 ～ 学校と補助員とのコミュニケーション～



- ・ 学校の対応
- ・ 子どもの様子・エピソード
- ・ 教員とのコミュニケーション

活動日誌の活用

～ 学校と補助員とのコミュニケーション～



補助員

“しおりづくり”をしたら、たくさん子どもたちが来てくれました。「先生にプレゼントする！」と言ってくれる子もいました。



補助員

1年生の児童が「寝る前に弟に読んであげる本を探して」と言ってくれました。

↑
子どもの様子やエピソードが学校に伝わる

活動日誌の活用

～ 学校と補助員とのコミュニケーション～



補助員

沖縄に関する本が少ないと思います。

↑
先生とのコミュニケーションが深まる

↑
活動日誌が
学校と補助員をつなぐ

**図書館活用推進に向けての取組みを
振り返って**

津曲校長先生より



**常に変化し続ける
学校図書館と一緒に!!**

図書館の立地条件が悪い
などの悪条件を乗り越えて



学校と補助員、
コーディネーターが
連携して取り組む

学校図書館が楽しく学べる場所として定着

ありがとうございました



平野区 長吉中学校 事例報告

学校図書館活用推進事業事例報告会 平成29年11月24日・28日



長吉中学校

大阪市平野区
生徒数 324名
9学級
特別支援学級 3

昼休み開館の様子



長吉中学校図書館の様子



百人一首、将棋、オセロを楽しむ



さまざまな昼休みの過ごし方

なぜ、にぎわっているか？

いつでも開いている学校図書館

週7回の開館が定着



部活集合前の時間など、わずかな時間にも生徒が利用
特別支援学級の授業での活用



多くの教職員が足を運び、
さまざまな活用アイデアが生まれた



時には学校行事の映像も流れる

なぜ、にぎわっているか？

学校図書館という場が持つメリット

その場ですぐに
調べることができる

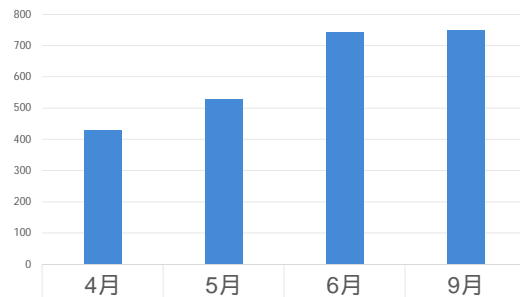
放課後の学習会の会場として
英検の勉強会の会場として

気分転換に
読書を楽しむこと
ができる

気分が乗らないときに学習を離れ
興味のある本を手に取りリフレッシュ

なぜ、にぎわっているか？

来館者数アップ



H29年度来館者数

学びのためのさまざまな仕掛け

- ◆ 豊富な蔵書
- ◆ 本以外の展示物
- ◆ 廊下も図書館の一部



豊富な蔵書



特別支援学級の子たちの
読みたい本も



ライトノベルの寄贈



修学旅行先以外の
ガイドブックも

本以外の展示物



映画や展覧会のチラシを
関連する棚に



生けてある花と図鑑



真田丸に関する記事

廊下も図書館の一部



さまざまな分野の
新聞記事

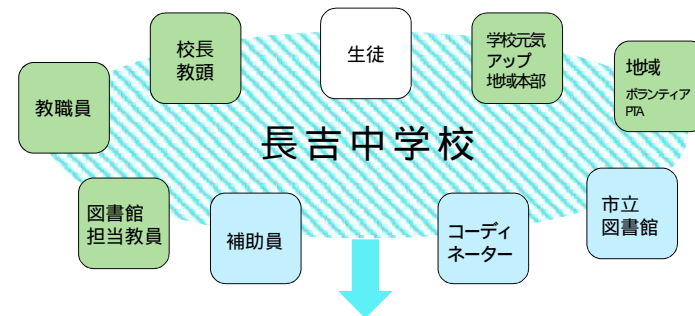


出版社のオススメ本
パンフレット



短歌賞の募集告知
...応募した生徒の作品が入賞!

たくさんの人の関わりが



学びを支える開かれた学校図書館をつくる

長吉中学校図書館は

1. 気軽に集まる場
2. 自分の読みたい本がある場
3. 興味関心の広がりを得る場

▶ 子どもたちにとって
魅力ある図書館